

編集後記

平成5年度第4回大学入試センター試験も、おかげさまで、無事終了いたしました。史上最高の51万人以上の志願者を集め、48万人以上の受験者を得て実施されました。いつも批判的な姿勢の新聞からも、良問であるとお褒めをちょうだいいたしております。

これも、関係各位の絶大なご支援の賜と感謝申し上げます。特に、作題と評価に携わってくださる先生方が、研究開発部の詳細なデータの分析を参考に、受験生のために献身的な努力を積み重ねてくださるおかげです。

センター試験の利活用についても、偏差値による輪切りという誤解を打ち消すように、各大学におかれては、科目選択、傾斜配点などを生かして、学部などの特性に合わせた個性的な生徒を選抜なさっておられるようです。

今後ともより有効にセンター試験を利活用していただけるようお願いするしだいです。

大学入試フォーラムNo.16では、当センター開設15周年記念に行われた、有馬朗人国大協会長のご講演「大学入試に対する希望」、佐藤禎一、佐野博敏、末松安晴、永島達夫、松本三郎の諸先生方の「これからの大学入試—センター試験を利用し—」のシンポジウムにおけるお話を中心に記事を構成いたしました。出題ノートは、日本史の高村直助先生と化学の一國雅巳先生にお書きいただきました。

センターからは、高橋良平所長の駒場雑感、池田輝政、山村 滋、小野 博先生の研究ノート他、ロシア、オーストラリア、アメリカなどの大学入試に関する海外情報に関する諸報告をさせていただいております。

参考資料として、平成5年度大学入試センター試験の実施結果についてまとめさせていただきました。いろいろな機会にご利用いただければ、幸いです。

ご協力くださった先生方に心からお礼を申し上げます。